

平成 30 年度	健康部の取り組み実績
	<部の構成> 健康総務課、国民健康保険室、年金児童手当課、医療助成課、保健所（保健企画課、保健衛生課、保健予防課、保健センター）

※保健所については、別途、取り組み実績を作成しています。

1. 重点施策・事業

(1) 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業の推進	
方向性	市内の公的病院や医療系大学、関係団体などが協定を締結し設立した「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」を活用して、各構成団体と連携しながら各種健康医療関連事業を実施し、市民の健康増進に繋がります。
取り組み	<p>コンソーシアムに掲げる 8 つの分野の連携事業に基づき、構成団体と連携して、災害時における医療救護体制の強化をはじめ、市内の医療機関への医療通訳士派遣や小中学生に対する健康教育、健康づくり・介護予防、産後ケア事業、健康医療に関する情報発信などの連携事業を推進します。また、コンソーシアム連携事業として、第 30 回枚方市健康・医療・福祉フェスティバルを 9 月に実施します。</p> <p>≪目標値≫ コンソーシアム連携事業への参加人数：1 万 1,800 人 （実績：平成 29 年度 1 万 1,778 人）</p> <p>平成 30 年度当初予算：6,745 千円</p>
実績	<p>構成団体と連携して、各種の市民向け講座等の実施や、学校における健康教育等を行いました。また、市内医療機関への医療通訳士派遣を実施し、平成 30 年度末時点で 538 件の利用がありました。</p> <p>第 30 回枚方市健康・医療・福祉フェスティバルについては、9 月 30 日に実施予定でしたが、台風 24 号の接近により、開催を中止しました。</p> <p>≪実績値≫ コンソーシアム連携事業への参加人数：5,808 人</p> <p>平成 30 年度決算：5,776 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(2) 救急医療体制の整備	
方向性	本市には、北河内夜間救急センターや枚方休日急病診療所などの初期救急医療機関から関西医科大学附属病院の高度救命救急医療機関まで、救急医療体制が整備されており、この機能を維持し、引き続き確保します。また、老朽化した医師会館及び休日急病診療所の市立ひらかた病院整備後の有効活用地への移転に合わせて、総合的な初期救急医療体制について検討を行います。

取り組み	<p>関西医科大学附属病院をはじめとする救急医療機関を支援するとともに、北河内夜間救急センターの事務局として、年間を通じた夜間小児救急医療の円滑な提供に努めます。また、医師会館及び休日急病診療所の移転とあわせて、北河内夜間救急センター及び休日歯科急病診療所の移転も含めた総合的な初期救急医療体制の再構築に向けて、関係諸団体、諸機関との協議・調整を行いながら検討を進めます。</p>
	<p>平成 30 年度当初予算：235,639 千円</p>
実績	<p>休日歯科急病診療所、関西医科大学附属病院をはじめとする救急医療機関に対して支援を行うとともに、北河内夜間救急センターについては、夜間における小児救急医療の円滑な提供に努めました。また、初期救急医療体制の再構築について、北河内夜間救急センター協議会において、医師会館の移転に合わせて北河内夜間救急センターを移設することの合意を得ました。あわせて、休日歯科急病診療所の新医師会館への移転についても協議が整い、円滑な移転に向けて、関係諸団体、諸機関との協議・調整を進めました。</p>
	<p>平成 30 年度決算：225,913 千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>	

(3) 災害時の医療救護体制の再構築	
方向性	<p>災害時の医療救護体制の強化に向けて、関係機関との連携を進めます。</p>
取り組み	<p>昨年度に引き続き、災害時の医療救護体制の強化に向けて、関係機関との協議・調整を行いながら、研修会及びより実践に近い大規模地震時医療活動訓練を実施するとともに、「枚方市災害時医療救護活動マニュアル」を策定します。</p> 
	<p> <<目標値>> 拠点応急救護所設置病院における災害医療救護活動訓練の実施率（累計）：平成 31 年度までに 80%（実績：平成 29 年度まで 40%実施） 平成 30 年度当初予算：1,816 千円 </p>
実績	<p>関係機関との協議・調整を行い、「枚方市災害時医療救護活動マニュアル」を 7 月に策定しました。また、12 月に星ヶ丘医療センターで実施された大規模地震を想定した災害医療訓練に、災害医療対策会議として参画し、事前研修会に参加するとともに、拠点応急救護所の設置・運営訓練等を実施しました。</p>
	<p> <<実績値>> 拠点応急救護所設置病院における災害医療救護活動訓練の実施率（累計）：60% 平成 30 年度決算：1,275 千円 </p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ○ 】</p>	

(4) 国民健康保険制度改革への対応	
方向性	<p>国民健康保険特別会計について、大阪府国民健康保険運営方針に基づき、一般会計からの基準外繰入を行うことなく適切な財政運営を進めます。</p> <p>同方針において示された、保健事業や給付事業等に係る府内統一基準については、平成30年度から円滑に対応するとともに、保険料率の設定や減免制度等については、6年間の激変緩和期間が設定されたことを踏まえ、平成36年度の保険料府内統一化に向け、保険料納付義務者において急激な負担増とならないように配慮しつつ見直しを進めます。また、保険料収納率の向上や、生活習慣病の予防、医療費のさらなる適正化を進めます。</p>
取り組み	<p>保険料の賦課にあたり、大阪府の激変緩和措置を反映して保険料率を設定するとともに、市独自の減免制度の見直し等、府内統一基準に基づく見直しを進めます。</p> <p>また、保険料収納対策の強化を図るとともに、人間ドック受診費用助成額の増額や生活習慣病チェックサイトの構築等により、生活習慣病予防の啓発と特定健診の受診勧奨につなげます。</p> <p>《目標値》</p> <p>平成30年度国民健康保険料収納率（現年分）：90.50% （実績：平成28年度国民健康保険料収納率（現年分）：90.07%）</p> <p>平成30年度当初予算：41,504,000千円（特別会計予算規模）</p>
実績	<p>平成30年度の国民健康保険特別会計については、基準外繰り入れを行わず、適切な財政運営に努めました。</p> <p>府内統一基準に向けての保険料率の設定については、激変緩和措置を講じ、急激な負担増とならないように配慮しました。また、市独自の減免制度について、6年間の激変緩和期間の中で府内統一基準に円滑に移行できるよう検討を行いました。</p> <p>平成30年度の保険料収納率（現年分）は、91.97%で目標値を上回りました。人間ドック受診費用助成額を7,500円から13,000円へと増額したほか、生活習慣病予防の啓発のため、生活習慣病チェックサイトを開設しました。さらに、特定健診未受診者を対象にデータ分析に基づく効果的な受診勧奨通知を送付し、受診率向上に向けた取り組みの充実を図りました。</p> <p>《実績値》</p> <p>平成30年度国民健康保険料収納率（現年分）：91.97% 平成30年度決算：41,316,664千円</p>
<p style="text-align: center;">取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】</p>	

(5) 国民健康保険・後期高齢者医療・医療助成の窓口業務委託の検討	
方向性	<p>国民健康保険制度改革への対応と繁忙期における窓口の待ち時間解消等を効率的・効果的に行うため、国民健康保険・後期高齢者医療・医療助成の窓口において、窓口業務の一部民間委託を検討します。</p>

取り組み	他自治体の事例研究や、本市の全庁的な検討を進めていく中で、効率的・効果的な実施手法や費用対効果、スケジュールの具体化を図ります。	
実績	全庁的な行政サービスのアウトソーシング化等に係る検討プロセスの中で業務手順の洗い出しや実施効果の検証等、具体化に向けた検討に取り組みました。	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

(6) 子育て世帯への経済的支援		
方向性	少子化対策の一環として、子ども医療費助成制度及びひとり親家庭医療費助成制度を利用する世帯の自己負担を軽減することで、子育て世帯を支援します。	
取り組み	<p>子ども医療・ひとり親家庭医療受給世帯で、受給者が複数いる世帯に対し、1世帯あたりの自己負担月上限額を1人分の上限額と同じ2,500円とすることで、医療費負担の軽減を図り、子育てを支援します。実施にあたっては自動償還とし、平成30年7月診療分から償還を行います。</p> <p>《目標値》 助成対象世帯：年間延べ10,800世帯 平成30年度当初予算：28,958千円</p>	
実績	<p>6月に対象者へ多子世帯医療費助成制度の案内を送付し、順次、返金用口座情報の登録を行いながら、平成30年11月末から、毎月月末の償還を開始しました。</p> <p>《実績値》 助成対象世帯：8か月分延べ7,821世帯（年度途中より開始のため） 平成30年度決算：17,088千円</p>	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
8-1. 国民健康保険特別会計の経営健全化（収納率の向上）	被保険者の資格管理をより適正に行い、差押等の滞納整理体制を強化するなどの取り組みを重点的に進めるとともに、口座振替率の向上等により、当初の目標を上回る目標として現年分収納率90.5%と滞納繰越分収納率30%をめざします。

実績	<p>保険料の収納率については、滞納繰越分は昨年度から 1.35 ポイント増、現年分は昨年度から 1.45 ポイント増となりました。</p> <p>平成 30 年度から、税とともに国保料の滞納がある案件について、債権回収課を通して大阪府域地方税徴収機構へ移管しました。(移管件数 221 件)</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
8-2. 国民健康保険特別会計の経営健全化(特定健康診査の受診率の向上)	「第 3 期特定健康診査等実施計画・第 2 期データヘルス計画」に基づき、特定健診未受診者への受診勧奨の強化等を進め、受診率の向上を図るとともに、生活習慣病の予防及び重症化予防に向けた取り組みを進めます。
実績	<p>生活習慣病予防及び重症化予防に向けた取り組みとして、生活習慣病チェックサイトの開設、人間ドック受診費用助成額の増額のほか、特定健診未受診者対策として、郵送型血液検査キットを活用した簡易な健診を継続実施するとともに、電話やはがきによる個別的な受診勧奨を実施しました。また、糖尿病性腎症重症化予防事業について、医療機関で治療中の対象者を抽出(204 名)し、応募者 23 名が 10 月から 3 月までを期間とする保健指導プログラムに参加しました。また、平成 29 年度のプログラム修了者に、10 月にフォローアップの連絡を行い、激励・経過確認を行いました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
8-3. 国民健康保険特別会計の経営健全化(ジェネリック医薬品の利用促進等)	ジェネリック医薬品の利用促進に向けた啓発や被保険者個人への通知、レセプト点検等給付審査によって、医療費の適正化を進めます。
実績	<p>医療費の適正化に向け、ジェネリック差額通知回数を年 2 回から 3 回に変更するとともに、レセプト点検等給付審査について、引き続き職員による審査と業者委託を実施し、全レセプトの点検を行いました。</p> <p>また、保険資格の適正化に向け、居所不明世帯や他保険資格の実態調査を強化し、継続的に取り組みました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
21. 国民健康保険・医療助成システムの再構築	平成 29 年度に再構築が完了した中で、今後、府内統一基準に基づく国保減免制度への対応等に係るカスタマイズや保守運用に要する経費の削減をめざします。
実績	平成 30 年 4 月の国民健康保険制度の広域化にあわせて新システムを稼働し、適切な運用を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
民間事業者のノウハウの活用	国民健康保険保健事業について、高度な専門性を有する事業者への委託により糖尿病性腎症重症化予防のための保健指導プログラムを提供するとともに、特定健診未受診者に対し事業者のマーケティングのノウハウを生かした受診勧奨を新たに実施します。
実績	糖尿病性腎症重症化予防について、高度な専門性を有する事業者による効果的な保健指導プログラムを展開しました。さらに、特定健診受診勧奨対策として、民間事業者のマーケティングのノウハウを生かし、データ分析から抽出した対象者特性に応じた訴求性の高い受診勧奨はがきを3回送付しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
債権の適切な回収	債権管理及び回収に関する条例の施行を踏まえ、国民健康保険・後期高齢者医療・医療助成・児童手当等に係る債権の適切な管理と回収を進めます。
実績	国民健康保険・後期高齢者医療については、債権回収課と連携し合同で調査・差押を行う等、収納対策の強化を図りました。また、税とともに国保料の滞納がある案件については、大阪府域地方税徴収機構への移管が可能となったため、債権回収課を通して同機構へ移管を行いました（移管件数 221 件、徴収額 20,823,974 円）。 医療助成については、返還金の催告書を医療費返還特別催告書として様式変更を行い、より返還を促すよう事務処理を進めました。 児童手当等については、児童の養育のための手当という性格上、受給するごとにその多くが消費されてしまっている現状があるが、過払い返還金が発生した場合、条例の趣旨を踏まえた「過払い債権徴収等対応マニュアル」に沿って、受給者との連絡、債権の確定、返還通知、督促など一連の処理を実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
子育てワンストップサービス導入	児童手当の手続きの一部について、子育てワンストップサービスによる電子申請導入に向け、年金機構等との情報連携の整備状況を踏まえ調整検討を進めます。
実績	日本年金機構等による情報連携の整備状況を把握し、導入に向けた調整検討を進めましたが、結果として平成 30 年度の情報連携は実施されませんでした。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
医療費助成の自動償還	平成 30 年 4 月の制度変更により、受給者の医療機関等での自己負担が増加するため、後日の償還申請が増加することが見込まれることから、申請手続きを行うことなく自動的に償還する仕組みを構築し、受給者の負担を軽減します。
実績	対象者へ制度変更の案内とともに償還用口座情報登録用紙を送付して順次登録を行い、平成 30 年 11 月末に第 1 回償還を行いました。以後、毎月月末に償還を行っています。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

◆国民健康保険特別会計の予算編成

国民健康保険制度改革により平成 30 年度から大阪府が財政運営主体となる中で、本市の国民健康保険特別会計の当初予算編成にあたって、大阪府から示された事業費納付金の算定額を基準とし、一般会計からの基準外繰入金を見込まず、大阪府による激変緩和措置を活用する中で保険料率を算定し、予算額に反映しました。

実績	国民健康保険特別会計については、一般会計からの基準外繰り入れを行わず、新たな国民健康保険制度に沿って、適正に予算を執行しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

◆健康寿命の延伸のための施策展開をはじめ、大規模な自然災害に備えた健康危機管理体制の強化や在宅医療の推進、保健師等の専門職の人材育成については、庁内、部内の連携を強化して取り組みます。

実績	災害医療協力病院の星ヶ丘医療センターとの連携訓練等、災害医療対策についての取り組みを部内全体で実施するとともに、保健師の人材育成については、「平成 30 年度保健師研修体系・研修計画」に基づき、庁内保健師連絡会の開催や中核市合同中堅期研修の企画実施等、庁内組織横断的な連携の推進及び人材育成に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

◆「枚方市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づいて平成27年度に策定したマニュアルを踏まえ、研修を実施するとともに、班体制の整備や訓練実施に向けた関係課との検討・協議を行います。

実績	<p>新型インフルエンザ等が発生した場合に、感染拡大防止策など必要な対策の強化を図るため、10月9日に全体研修を開催しました。その後、実施体制班ごとに実施すべき発生段階に応じた行動についての研修を行い、3月19日には各班がとるべき主な対応について、本部へ報告する形式での全体研修（演習）を実施し、対策の共有化を図りました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆健康・医療・福祉フェスティバルや、ひらかた食育カーニバル、健康のつどいなど関係団体と連携した事業の実施にあたっては、部内各課の協力・連携を図り、来場者の安全確保に努めるとともに、円滑に運営します。

実績	<p>健康・医療・福祉フェスティバルは台風24号の接近により中止となりましたが、部内各課で連携し、3月3日にひらかた食育カーニバル、3月22日に健康のつどいを開催しました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆朝礼・夕礼や定期的な課内会議などで職員間での情報共有化を行い、また、OJTを活用し新任職員のスキルアップを図るなど、個々の職員の能力向上・組織力向上に努めます。

実績	<p>健康・保健・医療等の関連施策の調整を迅速かつ効率的に行うため、部内会議を定期的に行い情報共有に努めるとともに、各種事業の周知について、部内で連携して取り組みました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆エフエムひらかたを通して、定期的に、健診の受診方法や結果の見方、生活習慣病予防のコツなど様々な健康情報を発信し、市民の健康づくりを応援します。

実績	<p>エフエムひらかたの情報番組に職員が出演し、特定健診や健康づくりについての啓発を行ったほか、広報ひらかたやホームページを活用した健康情報の発信を行いました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆国民健康保険制度改革による被保険者への影響等について、広報ひらかた等を通じて丁寧な情報発信を行うとともに、インターネットアンケートを実施します。

実績	<p>国民健康保険制度改革による被保険者への影響等について、広報ひらかたやホームページを活用して情報発信を行いました。インターネットアンケートの実施には至りませんでした。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	